



葛飾区の 「20棟に1棟」が 「焼失」のおそれ

地震発生時や自宅からの避難時には、火元を確認し、ブレーカーを落としましょう。



避難者は 「16万人以上」

最低3日間、できれば1週間分の食料や携帯トイレなどの生活用品を自宅に備蓄し、在宅避難に備えましょう。



火災が広がったら 「避難場所」へ

「水元公園・江戸川緑地一帯」や「新四ツ木橋地区東岸」「東京理科大学一帯」など13か所が指定されています。



職場や学校から 「むやみに帰宅しない」

葛飾区で3万人以上の帰宅困難者が発生。駅や道路に人があふれると群集雪崩の危険があるほか、緊急車両の通行ができなくなる可能性もあります。



「1万6000棟」が 全半壊のおそれ

日頃から家族で災害への備えや行動について、話し合っておきましょう。災害時には周囲の方へ「一緒に避難しましょう」の声かけも忘れずに！

東京都・内閣府被害想定より

あの日の学びで、その日に備える。

関東大震災

1923 ————— 2023

100年



NHKわがまち防災

https://www.nhk.or.jp/shutoken/kantoshinsai/wagamachi_tokyo



葛飾区 地震にそなえて

<https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1004028/1000063/1004029/index.html>